

埼玉県県北ゾーンの基本計画の概要

埼玉県の特徴

- 首都圏の中央に位置し、北関東・東北・甲信越・北陸へのアクセスが容易
- 圏央道等の整備により交通網がさらに充実
- 生産年齢人口の割合が全国一高い

計画のポイント

- ・ 本田技研工業(株)の区域内の立地の決定に伴い、自動車関連産業の新たな集積、技術及び人材交流、多様な産業への波及効果を目指す
- ・ 多様な農産物の生産地という特色を活かした食品産業との連携

1.集積区域 5市9町

2.集積業種 自動車関連産業、食品産業

3.成果目標（目標年次：23年度）

- 新規立地件数 37件
- 新規雇用数 1,300人
- 製造品出荷額増加額 1,921億円

4.目標に向けた事業環境整備等

- 産業基盤整備
 - ・ 本庄新都心地区における研究開発地区・産業業務機能集積地区等の整備
- 人材の育成・確保
 - ・ 工業高校実践教育導入事業（クラフトマン21）の推進
- 技術支援等
 - ・ 大学等研究機関とのマッチングや競争的資金の獲得など、産学連携による研究開発の支援
- ワンストップサービス等の支援
 - ・ 県においてワンストップ窓口を作り、フォローアップを一元的に実施するとともに、企業立地に係る行政手続き等を所管する関係課（21課）に「何でも相談ホットラインスタッフ」を配置。
 - ・ 県・市町村企業誘致連絡会議により、企業誘致に関する情報交換や研修等を行う。

集積区域市町村				小川町	皆野町
熊谷市	本庄市	美里町	上里町	秩父市	長瀬町
行田市	深谷市	神川町	寄居町	横瀬町	小鹿野町

【インフラ整備状況】

- ①道路網：関越自動車道、西関東連絡道路など
- ②鉄道網：上越・長野新幹線、JR高崎線、JR八高線、秩父鉄道、東武東上線、西武秩父線など
- ③大学・研究機関：早稲田大学、ものづくり大学、立正大学、埼玉工業大学など

